

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	経営戦略研究科後期課程
大項目	0 理念・目的
中項目	
小項目	0.0.1 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。
要素	理念・目的の明確化 実績や資源からみた理念・目的の適切性 個性化への対応
小項目	0.0.2 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員（教職員および学生）に周知され、社会に公表されているか。
要素	構成員に対する周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	0.0.3 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 研究科の理念・目的に関して、教授会で毎年、現状分析のための意見交換会を開催する。	→意見交換会の開催回数	A
2. 研究科の理念・目的を掲載するウェブサイトの状況について、現状分析と改善のための意見交換会を開催する。	→意見交換会の開催回数	D
3. 研究科の理念・目的に関して、教授会で毎年、見直しの必要性に関する意見交換会を開催する。	→意見交換会の開催回数	B

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

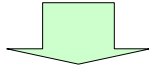
《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目0.0.1	(理念・目的) 当研究科先端マネジメント専攻の理念は、理論と実務を融合する高度な研究を目指すもので、それを通じて、社会貢献を果たそうとするものである。 (現状説明) ほぼ毎月開催される博士課程委員会で、理念と目的の現状分析のための確認作業を行っている。
☆ 小項目0.0.2	(現状説明) ウェブサイトへの掲載ができていない。
☆ 小項目0.0.3	(現状説明) ほぼ毎月開催される博士課程委員会で、理念と目的の現状分析に基づいた見直しの必要性に関する確認作業を行っている。
☆ その他	

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目0.0.1	
小項目0.0.2	
★ 小項目0.0.3	
その他	



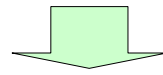
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目0.0.1	
小項目0.0.2	
★ 小項目0.0.3	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目0.0.1	
★ 小項目0.0.2	ウェブサイトに掲載する。
小項目0.0.3	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目0.0.1	
小項目0.0.2	
★ 小項目0.0.3	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★ その他 (自由記述)	
-----------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】

○研究科の理念・目的の公表、周知が一層進められることが望まれます。

【学内委員】

○取り組みが進捗中と判断されます。

○設定した目標に対しての具体的な取り組みが求められます。特にウェブサイトへの掲載について、進捗評価が「D」ということは意見交換会さえ開催できていない状況と推測されます。

○目標の1. では進捗評価がAということですから、意見交換会の内容に基づいた具体的な目標を設定することが望まれます。

○小項目0.0.1の現状説明における(理念・目的)は、簡略化せず全文をお書きください。

○小項目0.0.2の現状説明では現状が分かりません。他の媒体はどのようなものがありますか。ホームページでも掲載されているように思いますが。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★	本研究科は、民間企業や地方自治体などの公的機関における先端的なマネジメントの理論を、実務や制度に関する理解や経験を背景により深化させる企図で、論文指導を主眼とした研究指導体制を整えている。このことは、進学希望者を対象とした入学説明会で時間をかけて詳細に説明を行っている。なお、理念や目的に関するホームページの該当箇所については、アクセス数を確認する手立てを講じており、毎月一定数のアクセスが当該欄にあることを認識している。加えて、こうした理念等を所属教職員に浸透する点については、平成23年度より相当数の新規所属教員が計画されており、そうした新規メンバーへの浸透についても、引き続き進捗していく。
---	--

V. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

0.0.0.S1	本学の育成した人材(卒業生)に対する社会(企業)の評価
0.0.0.S2	卒業生がどの程度スクールモットー(マスタリー・フォア・サービス)をどの意識しているか
0.0.0.S3	卒業生のうち、自分の子供等、身内に関学への進学を勧めたいと思う人の比率
0.0.0.S4	卒業生のうち、自分の子供等、身内に関学への進学を勧めたいと思う人で、「スクールモットーに共感できる」ことをその理由とする人の比率
0.0.0.S5	在学生のうち「この大学で人生の一時期を過ごすことが、将来にとって役立つと思う」人の比率
0.0.0.S6	本学出身でキリスト教関連活動に従事する者(牧師を含む)の数
0.0.0.S7	理念の周知について(1)ー理念・教育目標を宣布する発行物・行事などの種類・数
0.0.0.S8	理念の周知について(2)ー総合コース「『関学』学」の履修者数

<個別的な指標>
